

ハイケイ、ケンゾウサマ

— 野口謙蔵記念館

アーティスト・イン・レジデンス

成果報告展

—



会期

令和6年7月27日(土)～9月29日(日)

会場

東近江市近江商人博物館 特別展示室

会期中
の休館

毎週月曜日(8月12日、9月16日、9月23日は開館)、
8月13日、14日、9月17日、18日、24日、25日

入館料

大人 300(250)円 小中学生 150(100)円

※()内は20人以上の団体料金

東近江市近江商人博物館・中路融人記念館

関連イベント

「おうみのれん ふたたび」

令和6年8月24日(土)

午前11時～午後3時

※時間内の好きなときに参加できます。

場所: 野口謙蔵記念館

(東近江市綺田町442)

アーティスト・イン・レジデンス期間中に開催され、大好評だったワークショップ「おうみのれん」が復活! 透明のプラ板に滋賀の好きなところを自由に描いてみましょう。出来た作品をつなげて、滋賀への愛がたっぷりつまった大きなのれんを作ります。



野口謙蔵記念館で展示した「おうみのれん」

東近江市出身の洋画家・野口謙蔵のアトリエを改築復元した野口謙蔵記念館。謙蔵が創作活動に励んだこの場所で、昨年度初めて「野口謙蔵記念館アーティスト・イン・レジデンス」(以下、AIR)を実施しました。AIRとは、アーティストを一定期間ある土地に招へいし、その土地に滞在して歴史や文化をリサーチしながら作品制作を行うチャンスを提供する事業のことです。特に日本では、アーティストの育成や支援だけでなく、空き家などを活用した地域振興や人の交流による地域活性化の手段としても用いられています。

第1回となる今回は、一人のアーティストが約2か月間にわたり滞在制作を行いました。招へいアーティスト園田源二郎氏は、野口謙蔵の作品に幼いころから親しんでいたこともあり、記念館の周囲に残る野口謙蔵の足跡をたどったり、市内各地で行ったワークショップをとおして地元住民とかかわったりして30点を制作。滞在制作作品展では、期間中にかかわった人々が訪れ、野口謙蔵記念館の新しい可能性がひらけた事業になりました。

本展は、このAIR事業を記録写真や園田さんの作品で振り返るとともに、アーティストの活動拠点として新しいスタートをきった野口謙蔵記念館のこれからについてご紹介します。



園田源二郎 Sonoda Genjiro

滋賀生まれ

絵描き・俳人。

クレヨンを用いて作品制作を行う。

ことばと絵のあいだを行きつ戻りつしながら作品の制作、展示活動を行っている。



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地 (てんびんの里文化学習センター内)

TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134

URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

■開館時間 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日(祝日は開館し火曜・水曜休館)・祝日の翌日・年末年始(臨時休館あり)

■入館料 大人300円(250円)小中学生150円(100円)※()内は20名以上の団体料金

■交通機関 ・JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」

または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分

五箇荘駅から徒歩約25分

・近江鉄道 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、

・名神高速道路 湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、

彦根ICから車で約40分

